

箱根土曜塾からのお知らせ No. 5

～「箱根土曜塾」の新しい取り組みについて～

箱根土曜塾は、受講生の学力に応じて5つのグループ（5～6名）に分かれ、各グループの講師が、受講生に合わせたプログラムにより、授業を行っています。

授業では、オリジナルテキストを使用し、演習を繰り返し行い、講師が丁寧に解説していきます。

箱根土曜塾では、より幅広い受験対策を行うため、今年度から『理科』『社会』の授業を各3回、カリキュラムに取り入れました。

理科①	物理・化学（計算）①
社会①	江戸時代以降の歴史
理科②	物理・化学（計算）②
社会②	地図問題
理科③	物理・化学（計算）③
社会③	地形問題



この他、希望校への合格率をより高めるため、今年度は、受験直前に、総合問題（テスト演習）を行います。

「家庭教育をきえる」

～地域でやれる・地域へつなぐ～

箱根教育の「德育」では、豊かな人間性や社会性を育み、信頼される人への根っこづくりを大切にしています。その土台としての「心」づくりは、学校・地域・家庭が連携して取り組むべき大きな課題であると考えています。本校ではとりわけ子どもたちの自己肯定感を育てるために、あらゆる場面で「ほめる」ことを意識して実践しています。

自己肯定感とは、「自分は自分でいい。」という自分の存在に対する自信のことです。人間にはできることもあるし、できないこともありま。そのありのままを「ほめて」「認めて」あげることが自己肯定感を高めることにつながります。

しかし、私たち大人はときに結果だけを見て子どもたちを評価しがちです。「頑張ったね。」「よくできたね。」という言葉は、確かに子どもたちの自信につながるのですが、それよりも、「頑張っているね。」「ありがとう。」と、過程をほめたり、やろうとした意欲に対して嬉しいと伝えたりすることの方が、子どもたちの前向きな気持ちを育てます。学校や社会は、どうしても結果が評価される場がありますが、家庭にはありません。学校以上に、「自分はこれができるなくても、存在する価値があるのだ。」という心を育てることができる場であると思います。

このように、子どもたちの自己肯定感や自尊心は、やはり家庭教育が土台となります。育つものでありますので、学校はこまめに子どもたちの様子を地域・家庭に発信していくことが大切だと考えています。学校よりや学級日より、ホームページなどを通して、できる限り子どもたちの前向きに頑張る姿をたくさん伝えていきたいと思っています。

仙石原小学校
照会先 教育委員会生涯学習課
☎8418049
☎8517601

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

園・小学校交流 編

11月に湯本幼児学園の5歳児と湯本小学校の2年生と一緒に「さつまいも収穫」と「茶巾絞りづくり」を行いました。

「さつまいも収穫」では、5月に苗を植えたさつまいもが収穫時期を迎え、子ども達が力を合わせてさつまいもの蔓を引っ張ると、立派に実ったさつまいもが土の中から顔を出し、子ども達は歓声を上げて、とても楽しそうでした。

後日、湯本小学校の家庭科室で行った「茶巾絞りづくり」では、あらかじめ茹でておいた収穫したさつまいもを、5歳児は2年生にやり方を教わりながら、さつまいもの皮を剥き、すりこぎで潰して、協力して茶巾絞りを作り、「おいしい」と言いながら秋の味覚を楽しんでいました。

町では、5歳児の2学期から小学校の1年生の1学期までの活動をつなぐ「スタートプログラム」を作成し、5歳児のときに小学生との様々な交流を図っています。他にも絵本の読み聞かせや小学校1日体験入学など、各園と各小学校との様々な交流を通じて、園児は小学校に入学した後の自分の姿を具体的にイメージすることができ、円滑な小学校生活のスタートにつながっていると同時に、小学生は自分が役に立っていることを実感し、「自己有用感」を高めることにもつながっています。

このような各園と小学校間の交流を通じて、「縦のつながり」が自然と育まれていくことも園・小・中一貫教育（分離型）の大事な取り組みの1つです。

湯本幼児学園5歳児と湯本小学校2年生との交流の様子



さつまいも収穫（湯本幼児学園 園庭）



茶巾絞りづくり（湯本小学校 家庭科室）

家庭教育講座 「子どもと保護者の「コミュニケーション方法について」

日時 2月2日(土)14時55分～15時55分
会場 役場本庁舎4階会議室
講師 東京工芸大学芸術学部 大島 武 教授
内容 子どもが、豊かな人間関係を結べる大人になるための親子のコミュニケーション方法についての講演
対象 園・小・中学校の保護者及び教職員
申込先 教育委員会生涯学習課
☎8517601



参加者の声 森林セラピー！森林浴で感じたこと

箱根青ノ湖森林セラピー基地通信(その11)

今回は、森林セラピスト高田裕司氏が取りまとめた、森林浴体験参加者の感想を紹介します。参加のきっかけは皆さん様々ですが、森林が健康に寄与していると思う方たちが増えているようです。

「気持ちが悪かった」
参加してよかったという声が多く寄せられ、その理由としては、気持ちが落ち着いたこと、樹木や森林浴効果などのマメ知識が得られたことがあげられていました。

- ・日常生活から解放され、とても元気が出た。
- ・森林浴は初めてだったが、ガイドをしてもらうことでより一層楽しめた。
- ・ストレス解消になった。新しい発見があった。

「五感を用いて森林を楽しむ」
五感を用いて森林を楽しむことに対しては、ほとんどの方が初めてだったそうです。

- ・森の中で匂いに注目したことはなかったけれど、たくさんの香りに気付けるようになって癒し効果が高まった。

「森の中へ行く」
「森林に何かをされに行く」
「森の中にいることが大切」という話はとても興味深かった。

- ・月に一度の自然の中を歩くことを生活に取り入れていきたい。
- ・五感を使うことの意味、やり方を知ることができてよかった。
- ・こんなにも簡単に森林浴効果を感じられることを知り、普段から取り入れたい。

森には「ストレスホルモンを減少させる」、「血圧を正常化させる」などの様々な機能や効果があることが分かっていきます。

「森林に何かをされに行く」
「森林に何かをされに行く」
「森林に何かをされに行く」

照会先 森のふれあい館
☎8316006